

2021年7月 (No.385)

主な内容とページ

半導体関連株式公開企業 125 社業績集計	1
利益額は改善	3
利益率も二桁台に復帰	3
売上高トップの信越化学は利益面で健闘	4
利益額ランキングではルネサスが復帰	7
17 社が売上、利益ともに最高更新	7
利益率上位 5 社	9
この道しかない(SRL だより)	12

半導体関連株式公開企業 125 社業績集計

半導体を収益の柱としている上場企業 125 社の 20 年度業績は回復に転じたが小幅にとどまった。

1. 対象 125 社の総売上は前期比 1.3%増の 13.16 兆円、経常利益は同 6.9%増の 1.34 兆円と増収増益となった。経常利益率は前年度の 9.7%から 10.2%と二桁台に復帰した。
2. 125 社中、29 社が売上、26 社が利益でそれぞれ最高を更新した。うち 17 社は売上および利益ともに最高を更新。厳しい環境下ながら輝く成果を達成した。
3. 事業の統合集約化、企業間の M&A などの進行が業績に反映される例が増え、今後は、さらに加速される可能性がある。

この道しかない

東京オリンピックは、期待から懸念、さらに混乱と失望と賛否が分かれている。『「この道しかない」とばかり物事が進められてきた。新型コロナ対策や東京五輪の問題。菅政権で「プラン B」(代替案)が見えてこないのは、なぜだろうか』(朝日新聞デジタル 7月13日付)。

わが国の政策は「政府の中枢にいるエリートがつくっています(中略)。この政策には複数のシナリオが考慮されず、唯一の正解しかありません」という。思い当たる節は多く、海外では常に複数の案が検討されるのが、普通だ。前提には「失敗」は付き物、人間は完璧ではないという考え方がある。

日本復活の半導体プロジェクトが検討されているが、ぜひとも「この道しかない」ではなく、柔軟、多様に取り組むことはできないだろうか。予算設定や遂行期間など日本の現行制度にはそぐわないのはわかるが、限界をもたらしていると思う。半導体は、技術のみでなく事業形態など常に変化、進歩をもたらしている。

* 神奈川県立保健福祉大学兪炳匡(ゆうへいきょう)氏

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2021 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2021 年 7 月(毎月 1 回発行)第 32 巻 7 号(通巻 385 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© 株SRL 2021

SRL Monthly Report

July 2021, No.385

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)